

1 学校教育目標	
「元気いっぱい しっかり勉強 みんな仲よし」 いっしょうけんめい勉強にはげみ、人のかかわりを大切にし、未来をたくましく生きる若基の子どもを育てる。	
2 学校経営ビジョン	
めざす学校	【明るく元気で、お互いのコミュニケーションを大切にできる学校】 ○明るく元気で、思いやりと感謝の心を持った子どもたち ○指導力向上に努め、子どもに積極的に関わる教師集団 ○家庭や地域とのつながりを大切にできる学校
めざす子ども像	【元気で、かしく、まわりの人とかかわりを大切にできる子ども】 ○大きな声で「おはようございます」や「ありがとう」が言える子 ○意欲をもって勉強にはげむ子 ○人の思いも理解し、自分の思いを積極的に伝えられる子
3 本年度の重点目標	4 前年度の成果と課題
① 学習習慣を定着させ、意欲を持って学習に取り組む児童を育成し学力の向上を目指す。 ② 自らの健康・安全に留意し、元気いっぱい、友だちに対して感謝や思いやりの心をもって接することができる児童を育てる。	・外国語活動の研究発表を行うことで、内容面の充実と指導力の向上が図られた。 ・児童の安全面への取組は、保護者、地域との連携で効果が上がっている。 ・学力向上にも関わってくる「読書指導の充実」については、きわめて達成率が低かった。 ・佐賀県や全国の学力調査では、ほとんどの観点で平均を下回った。

5 総括表						
① 学習習慣を定着させ、意欲を持って学習に取り組む児童を育成し学力の向上を目指す。						
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策	評価及びその理由	成果と課題
教育活動	●学力向上	指導方法改善	・各教科等の授業場面に必ず表現活動（書く、聞く話す）を取り入れ、お互いに自分の考えを伝えあう力を育成する。	・自分の考えを書く場面を設ける。 ・自分の考えをもとに、児童相互の考えを交流させる。 ・限定した言葉や字数で効果的に表現させる活動を取り入れる。		
教育活動	●学力向上	学習習慣の定着	・チャイム着席（授業の準備をして、チャイムが鳴り終わるまでに席に着く95%以上） ・家庭学習時間調べを行い、学年目標達成率を80%以上にする	・学期前半に、重点期間を設けて、3校時と5校時の始業時に授業者が調べる。（忘れ物調べも同時に実施） ・重点期間を設けて、各自にチェック表をもたせ、1週間の内4日以上で合格とする。（下学年は保護者記入。高学年は保護者のサインをもとめる）		
教育活動	●学力向上	読書の充実	・1人年間目標（1～3年70冊、4～6年50冊）を達成する。 ・読んでおきたい30選は全員読破する。	・図書館利用を促し、担任が具体的に（週2冊）数を示し、休業中も読書を奨励する。 ・「読んでおきたい30選」のカードを掲示したり、「一言感想」や読破者の名前を放送等で紹介する。 ・社会科や総合などに関する本を、まとめて借りて活用するように呼びかけ、読書数にもカウントする。		
② 自らの健康・安全に留意し、元気いっぱい、友だちに対して感謝や思いやりの心をもって接することができる児童を育てる。						
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策	評価及びその理由	成果と課題
教育活動	●健康・体作り	運動習慣の改善や定着化	・外遊びを奨励する。 ・なわとび運動を奨励する。	・月目標「外で遊ぼう」を生かしたクラスで外遊びをするようにする。帰りの会で、外遊びできた児童の数を把握していく。 ・なわとびマスターの取組を奨励し、達成者を表彰する。		
教育活動	○安全教育	児童の安全・安心の確保	・年間計画を作成して、計画に沿って全職員連携のもと実施にあたる。 ・交通事故0をめざす。	・事例に基づいた、具体的な指導を毎月行う。事例発生時には状況を詳しく伝え、同様の事故が発生しないよう指導する。特に映像を使った分かりやすい説明に心がける。 ・交差点での横断、自転車の乗り方の指導に重点を置く。		
教育活動	●心の教育	あいさつの徹底	・アンケートにおいて「あいさつができています」という保護者評価を85%以上とする。 ・ペットボトル回収でワクチン150本以上達成を目指す。	・児童会を通じて、6年生を中心とした「朝のあいさつ運動」を実施する。 ・ボランティア委員会を設け、児童の呼びかけによる意識の高揚を図る。 ・家庭・地域への啓発活動を行う。		

本年度の重点目標に含まれない共通評価項目						
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策	評価及びその理由	成果と課題
特定課題	●小学校低学年の学習環境の改善充実	低学年の基本的学習習慣・生活習慣の定着	・「小学校低学年の指導の成果報告書」（1年、2年）で「達成」「おおむね達成」を80%以上とする。	・「小学校低学年の指導に関する計画書」における、具体的方策と評価基準をもとに、担任が月末毎に評価を行い、年度末に結果を集計する。		
学校運営	○開かれた学校作り	情報の発信	・学校たよりを週1回発行しその都度HPへもアップする。 ・学年、学級便り、緊急メール等でも情報の発信や行事の広報を行う。	・定期的に便りを発行すると共に、情報担当者は、必ずHPでも情報を発信する。 ・毎月の町の会議で、学校便りを配布し行事を紹介する。また、定期的に学校情報携帯メールで発信する。		
学校運営	○危機管理	服務規律の徹底	・飲酒運転及び交通三悪の防止 ・体罰・セクシャルハラスメントの防止 ・個人情報の管理	・通知文は必ず指示、徹底し心に残る指導を行う。 ・服務に関する、研修会を実施する。 ・職場外における私的な部分についても、繰り返し指導を徹底すること。		